

# ブラキムラとめぐる！仙台城下町ボヤージュ 〔2021年3月2日放送分・南鍛冶町／三百人町〕

毎月第1火曜日に放送しています。歴史家で街歩きの達人・ブラキムラこと木村浩二さんと、旧城下町に88本ある石柱＝辻標から歴史の痕跡を探る旅です。街歩きのお供には、仙台市役所1階の市政情報センターなどで販売中の冊子、その名もズバリ「辻標」が便利です。88本ある辻標の場所や周辺の歴史が、写真とともに分かりやすく解説されています。放送とあわせてお楽しみください！

- 若林区の荒町商店街を出た、私と木村さん。荒町商店街の東の端で、ガクンと坂を下るのが分かりますか？
- これは、長町―利府断層の崖をならしたものだそうです。伊達政宗晩年の城下町再編より以前は、城下町がこの崖を越えて東側に広がることはありませんでした。かつての街づくりも、地形に影響されていたことが分かります。
- 火伏せの神社として知られる三宝大荒神の境内でお参りした後、本日の辻標へ。三宝大荒神からすぐ南のT字路にあるのが、今回の辻標「南鍛冶町／三百人町」です。
- 国分町に「元鍛冶町公園」というのがあるをご存知ですか？その名のとおり、元々鍛冶屋さんが集まっていた町です。南鍛冶町は、城下町再編により南に移住させられた鍛冶職人の町というわけです。この城下再編に伴う移住は、すでに見てきた荒町に対しての本荒町と同じ関係です。
- ちなみに三百人町というのは、鉄砲足軽衆が三百人住んでいた町…という意味です。
- 〈文・佐々木淳吾〉